

報告第 2 号

令和 5 年度利用促進策の実施状況について

1 利便性の向上

(1) 誰もが利用しやすいダイヤの編成

乗務員や車両運用などを踏まえ、従前ダイヤから 29 本増便し、運行本数を 131 本（うち快速 9 本）としたダイヤを編成。

(2) 観光・イベント列車の運行

①観光列車

福井県が、大手旅行会社に先進事例の調査や県内の地域ヒアリング、観光列車のコンセプト・車両・サービスの提案を行う「観光列車導入調査事業」を実施。

また、協議会の調査研究事業として、観光列車を応援する先進の観光列車の事例から導入・運行について考えるセミナーを開催。（令和 6 年 2 月 7 日 参加者数 54 人）

②イベント列車

ハピラインふくいにおいて、普通列車をイベント列車として使用するため、取付式テーブルを整備し、令和 6 年度からの運用を目指す。

(3) 誰もが利用しやすい環境づくり、駅サービスの向上

9 月 1 日に駅名標デザインを発表。来県した外国人にも利用しやすいよう、多言語に対応した駅名標を設置。



(4) 駅へのアクセス向上等

沿線市町と駅周辺での P & R 駐車場の整備、既存駅駐車場の利活用について、継続的に協議中。

(5) 新駅の設置

①越前市新駅

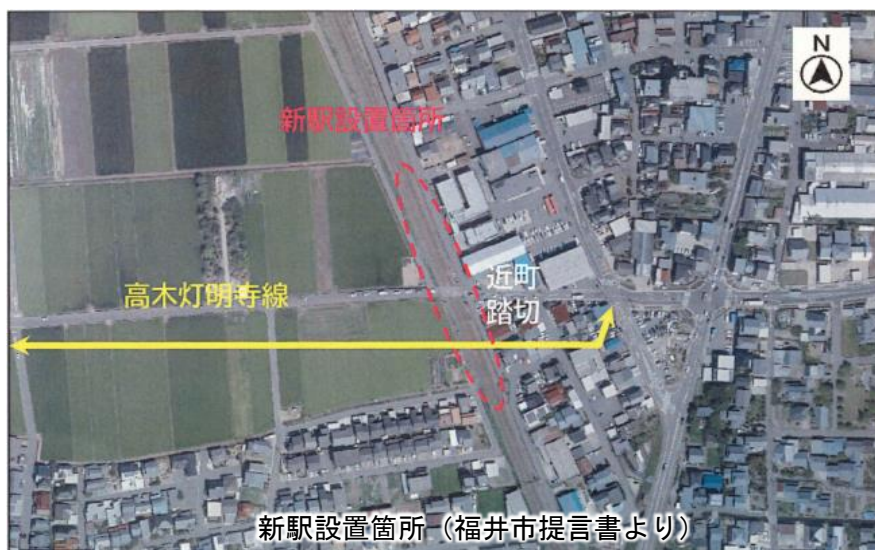
ハピラインふくと越前市が連携し、令和5年度に駅ホーム・駅前広場等の詳細設計を実施。令和6年度から工事着手。

駅名については、越前市が市民や利用者から駅名案の募集や意見募集を行った後、選定委員にて最終候補を「しきぶ駅」とし、2月にハピラインの取締役会にて決定。



②福井市新駅

福井県・福井市・ハピラインによる検討会議において、新駅設置箇所の「近町踏切付近」での駅舎やホーム等の駅施設、周辺道路(都市計画道路高木灯明寺線)の事業化に向け協議を実施



2 駅を中心としたまちづくり

(1) 駅を中心に都市機能の集約や居住誘導

敦賀市が、官民連携でJR敦賀駅西地区エリアに「otta」を整備、来訪者の玄関口として、また、市民の普段使いの拠点として運営。

(2) 既存駅のモデルチェンジ

①鯖江駅

鯖江市が「めがねのまちさばえ」PRのため、ホーム内でのめがね型ベンチ整備や、ホーム上部へのメガネ看板の整備を実施。

北陸新幹線開業後の人流調査やデータ収集、駅利用者の意見・要望のとりまとめを行い、令和8年度を目途に駅周辺整備の基本計画を検討する。

②春江駅

坂井市が春江駅周辺の利便性の向上および賑わい創出を目的とし、駅周辺の整備を検討するため、春江駅周辺整備検討協議会を4回開催（令和5年8月、10月、令和6年1月、3月）。今後、協議会の意見を参考に基本設計等を進める。



(3) 駅、駅周辺のにぎわいづくり

①あわら新幹線歓迎会 (R5. 9. 24)

開業半年前イベントとしてアフレア前から駅前一带で歩行者天国を実施し、多くの市民が参加して「あわら新歓パレード」を行った。

来場者数：約14,000人



②福井市観光交流センター

オープニングイベント (R5. 10. 1)

北陸新幹線福井開業に先立ち、駅舎に隣接する「福井市観光交流センター」のオープンを記念し、セレモニー等を実施した。

来場者数：約 3, 000 人



③DREAMフェス (R5. 10. 22)

福井市観光交流センターにおいて、障がいのある人も無い人も一緒に楽しむイベントを開催。当日はハピラインふくいブースを設け、ファンクラブのPRを行った。 来場者数：約 1, 500 人



④otta 開業 1 周年イベント (R5. 9. 16)

敦賀駅西地区のにぎわい拠点施設「otta」の開業1周年を記念するイベントを実施。マルシェやワークショップが開かれた。



⑤今庄そばまつり (R5. 5. 28)

今庄宿およびJR今庄駅周辺でのそば店 16 店・模擬店 10 店の出店及びステージイベント等を開催した。

クーポン券配布 @ 200 円×1, 500 人

来場者数：約 10, 500 人



⑥今庄街道浪漫今庄宿 (R5. 9. 17)

旧北国街道の宿場町として栄えた「今庄宿」において、羽根曾踊りや日本舞踊などの演目が行われ、当時の宿場町の情景を楽しむイベントを開催した。

来場者数：約 3, 500 人



⑦丸岡駅イルミネーション (R5. 11. 1~R6. 2)

駅舎をイルミネーションで装飾し、フォトスポットを創出。



⑧ふくい食と農の博覧会 (R5. 11. 18~19)

ハピテラス～福井県庁一帯をイベントエリアとして、県内の旬の味覚が味わえるイベントを開催。公共交通機関を利用して来場した方を対象に抽選で、景品をプレゼント。



⑨ハピラインふくい開業イベント (R6. 3. 16)

ハピラインふくいの開業を記念して、福井駅で出発式を開催。テープカットやくす玉開披、乗務員への花束贈呈等を行い、出発の合図とともに、ハピラインデザインの車両の出発を盛大に見送った。ハピラインふくい線各駅や周辺施設ではイベントを開催し、集まった多くの方でにぎわった。



3 地域鉄道など他の交通事業者との連携

(1) 地域鉄道等との連携

①えちぜん鉄道、福井鉄道との事業連携

地域鉄道事業連携連絡会議幹事会の開催 (R5. 6. 9)

地域鉄道事業連携3社会議、合同勉強会の開催 (R5. 4. 17、R5. 8. 30、R5. 11. 16)

イベント等

- ・福鉄・えち鉄・ハピライン3社共通フリー切符の販売

販売価格：2,000円(各社フリー切符価格の3.5割引)

販売期間：令和6年3月16日(土)～4月7日(日)

販売実績：1,598枚(うちハピライン販売分1,178枚)



- ・「駅メモ」デジタルスタンプラリーの実施

実施期間：令和6年3月16日(土)～12月31日(火)

対象区間：福鉄、えち鉄、ハピライン、JR越美北線、JR小浜線

その他：記念撮影スポット整備、福鉄・えち鉄においてラッピング車両を運行



②鉄道ふくいフェスタ2023への参加 (R5. 10. 21～22)

県、福井鉄道、えちぜん鉄道、ハピライン、JR貨物が共催し、田原町駅、えちぜん鉄道本社、福井鉄道北府駅、JR貨物南福井駅でイベントを実施。来場者は延べ約4,500人。



田原町駅



えちぜん鉄道本社



福井鉄道北府駅



JR貨物南福井駅

③ふくいの地域鉄道魅力発見イベント (R6. 3. 23～24)

県内の地域鉄道が連携した、鉄道の魅力を発信するイベントを開催。魅力紹介ブース出展や記念グッズの販売を行った。来場者数：1,280人



鉄道クイズ大会



体験コーナー



トークショー

④北陸三県並行在来線利用促進連携事業

- ・「あいの風・IR・ハピライン連携北陸3県2Dayパス」の販売

販売価格：大人2,800円 小児1,400円

販売期間：令和6年2月16日（金）～令和7年3月30日（日）

利用期間：令和6年3月16日（土）～令和7年3月31日（月）

※土日祝日およびGW、夏休みなど指定する期間に利用可

その他：2日間有効、沿線施設での特典付き、デジタル切符のみ販売

販売枚数：大人2,350枚、小児60枚 ※3月31日現在



- ・三県会社の車内中吊り広告を活用した共同観光PR

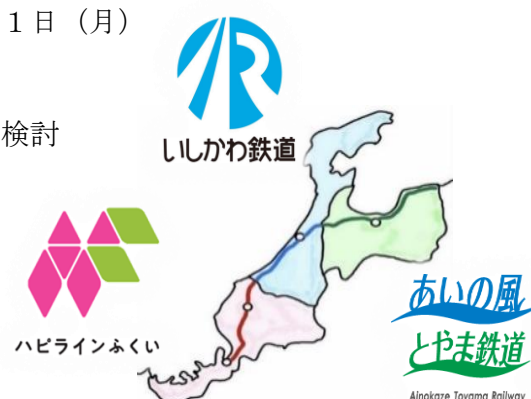
期間：令和6年3月16日（土）～令和7年3月31日（月）

- ・その他

利用促進検討チームを開催（計5回開催）し、具体策を検討

<今後の実施(案)>

- ① MaaSアプリを活用したモデルコースの発信
- ② デジタルスタンプラリーの共同実施
- ③ 観光列車・イベント列車の共同運行



⑤災害時の相互協力

- ・災害時の復旧支援のため、福井鉄道・えちぜん鉄道と災害時における相互協力に関する協定を締結（令和6年3月16日）

鉄道・運輸機構と包括的連携協定を締結（令和6年3月22日）

（2）交通事業者等との連携

嶺北地域公共交通計画策定委員会に参画。鉄道駅やバスターミナルなどの交通結節点におけるダイヤ接続向上、パターンダイヤ化等、交通事業者間で連携を強化。

4 地域に親しまれる鉄道への転換

(1) 車両・駅名標デザインについて

車両・駅名標デザインを決定（9月）

ロゴのピンクとグリーンを使用し、2色の帯と花びらのようなレイアウトで、ハピラインらしい、明るい、親しみやすい、華やかなデザインに。

車両ラッピングは5月末時点で16編成のうち、10編成が完了。令和6年9月頃には全編成完了見込み。



(2) 県民の参画

地域活動支援事業【協議会事業】

- ・ 並行在来線の利用促進などに取り組む地域団体等へ奨励金を交付（7団体）

交付実績

《福井駅、森田駅、越前花堂駅、大土呂駅》実施団体：（一社）日本おもろスポーツ連盟

- ・ 福井市内の沿線の名所や公共施設を電車で巡り、写真を撮影して撮影箇所の数や移動距離を競うイベント（フォトロゲイニング）を実施。（R5. 8. 20）
- ・ 親子連れらが参加し、成績上位者には景品をプレゼントした。（参加者：7人）



《敦賀駅》実施団体：（特非）子育てサポートセンターきらきらくらぶ

- ・ 敦賀駅内オルパークにて Xmas チャリティーバザー&コンサートを開催。来場者へのパンフレット配布（協議会、ファンクラブ）や開会時のアナウンスにより、電車利用を促し、また、ハピラインふくいのPRを実施した。（R5. 12. 10） 来場者：約100人



《鯖江駅》実施団体：鯖江公共交通振興会

- ・ ハピラインふくい開業に合わせて SABAE 駅前フェスを開催。音楽フェス、宝探しゲーム等会場内イベントにより、鯖江駅の活性化を図った。（R6. 3. 16）

来場者：約2,000人



PRチラシ

《芦原温泉駅》実施団体：金津本陣にぎわい広場運営委員会

- ・ ハピラインふくいの利用促進を目的にチラシを作成。新幹線開業イベント等で、チラシを配布した。(1,000枚)



PR チラシ



《今庄駅》実施団体：(一社)南越前町今庄観光協会

- ・ ハピラインふくいに親しみを持ってもらい、利用促進につなげるため、今庄駅オリジナルノベルティを作成し、利用者に無料配布を行った。(R6. 3. 16、150個)



記念品 (エコバッグ)



利用者へ配布

《武生駅》実施団体：まちづくり武生株式会社

- ・ 開業を記念して、開業日の始発から記念品 (お餅) 等の配布を行った。(R6. 3. 16、60個)



記念品 (お餅)



利用者へ配布

《丸岡駅》実施団体：東十郷まちづくり協議会

- ・ ハピラインふくい車両を歓迎する横断幕を作成し、利用客とともに横断幕をかかげて駅のにぎわい創出を図った。(R6. 3. 16、参加者：約100人)



横断幕



車両歓迎

(3) マイレール意識の醸成

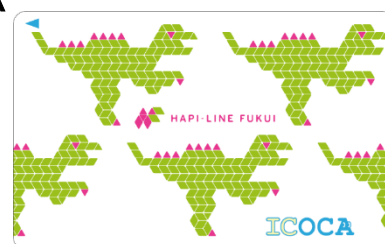
①グッズ制作

ハピラインふくいオリジナルグッズを製作し、
オンラインショップや開業イベント、県内外の鉄道関連イベントで販売



②ハピラインふくいオリジナルデザイン ICOCA

ハピラインふくいオリジナルデザイン ICOCA を製作
開業時から発売し、初版15,000枚が4月29日に完売
(2024年秋以降に再販予定)



③イベント等での周知

県内外のイベントや駅でハピライン開業・ファンクラブ募集のPRを実施

〈参加イベント〉

令和5年度

- ・ゆりフェスタ 2023 (6月)
- ・西武福井店創業祭×福井の鉄道大周年祭 (7月)
- ・鉄道の日記念イベント (10月)
- ・鉄道ふくいフェスタ 2023 (10月)
- ・あげフェス (11月)
- ・越前若狭紅白味自慢 (11月)
- ・もちもち満腹祭 (12月)
- ・新幹線開業50日前イベント (1月)
- ・ふくいの地域鉄道魅力発見イベント (3月)

令和6年度 (予定)

- ・しなの鉄道主催イベント (7月)
- ・JR湖西線開通50周年記念イベント (7月)



- ・今庄宿街道浪漫（9月）
- ・中部運輸局主催「鉄道の日」記念イベント（10月）
- ・鉄道ふくいフェスタ 2024（10月）

④普及啓発事業【協議会事業】

- ・普及啓発用パンフレットを増刷（R5. 7：3,500部、R5. 12：3,000部）
- ・ハピライン開業に合わせてパンフレットスタンドを設置。
沿線イベントの周知や駅周辺観光の促進沿線につなげる。
- ・ノベルティグッズの作成と配布。



パンフレット



パンフレットスタンド



ノベルティグッズ

⑤ハピラインふくい利用促進協議会の開催【協議会事業】

- ・ハピラインふくい利用促進協議会幹事会の開催（R5. 12. 18）

議題 令和5年度利用促進策の実施状況について
令和6年度協議会事業計画および予算（案）について 等

（4）サポーターズクラブ（ファンクラブ）の設立

- ・ハピラインファンクラブを10月2日に設立し、会員募集を開始。
- ・12月1日からは法人会員の募集を開始。
- ・ファンクラブ会員申込者数（5月20日現在）
個人会員：3,030名
法人会員：19社

